

みえライフイノベーション総合特区

[指定：平成24年7月、認定：平成24年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4+3.5)/2=3.8$

3.8

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	統合型医療情報データベースの活用	0%	1
2	ヘルスケア分野の製品・サービスの増加	112%	5
3	ヘルスケア産業の振興	265%	5
4	ヘルスケア分野企業(第2創業含む)及び研究機関の立地件数(累計)	121%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値

 $(5 \times 3 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 1) / 4 = 4$

4.0

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例)評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値 $(3+3.2+4)/3=3.4$

3.4

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.2

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.8

- ・研究開発支援拠点「みえライフイノベーション推進センター」の設置や財政的援助により、企業参入や製品開発、雇用創出に着実に成果がでている。県レベルでの企業振興支援との連携においても着実に成果を生み出している。
- ・県民の5分の1にあたる42万人をカバーする統合型医療情報データベースの構築は特記すべき成果である。医療情報データベースについては全国で類似のものが広がっており、得意分野やサービス内容など差別化が必要だと考えられる。これを政策、研究、製品開発に活用した成果が期待される。
- ・ヘルスケアに関わる人材雇用を促進するような施策も考慮する必要があるのではないか。
- ・「特区」でなければ実現できない新たな視点の取組がないか、再検討してみるも良い。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.8

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(3.8+3.4+3.8 \times 2) \div 4 = 3.7$

3.7

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。